



たくらんぼ
コンサート

2019年8月2日(金)

開場 13:30 開演 14:00

埼玉さくらんぼⅡ館(社会福祉法人 敬寿会)

Program

Profile

アベ・マリア

シューベルト

G線上のアリア

バッハ

チェロ 無伴奏組曲より

バッハ

エリーゼのために

ベートーヴェン

～カンツォーネ～

サンタ・ルチア
帰れソレントへ
オーソレミオ

白鳥

サン・サーンス

ユモレスク

ドヴォルジャーク

モルダウ

スメタナ

～懐かしの日本のメロディ～

夏の思い出

あとの曲は当日のお楽しみ!

※曲順は変更になる場合がございます。



出井 則太郎 (テノール・カウンターテノール)

東京藝術大学声楽科卒業。ドイツ、オーストリアに学んだ後、在日チェコ共和国大使館で行われたチェコ音楽コンクール入賞を機にチェコに留学(2007年)。2010年よりチェコ共和国給費留学生として再留学。国立パラツキー大学にて声楽、音楽学を学ぶ。カウンターテノールとして教会でのミサやコンサートで歌う他、モラビア民謡、チェコ歌謡曲を歌う日本人としてラジオ番組にも出演し、インターネットの動画サイトでも話題になった。チェコ国内のコンサートにゲストとして多数出演。チェコでのコンサートツアーの他、日本でのチェコ音楽の普及を目的としたコンサート・ライブ活動が、日本経済新聞に取り上げられる。カウンターテノールからテノール、バリトンまで4オクターブ以上の音域を使いこなす。クラシックから歌謡曲まで、ジャンルを問わないプログラムと軽快なトークが人気。現在は、在日チェコ商工会議所文化担当イベントリーダー、(株)サンミュージックプロダクションボイストレーナーも務めている。



出井 愛 (ピアノ)

東京音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業後、チェコ国立ブラハ音楽院に留学。スメタナの生家リトミシュルで行われた音楽祭に出演した他、ブラハ・オロモウツ・ヴェルハルティツェ(古城)など、チェコ国内での音楽祭、コンサートに多数出演。2011年にはベトナムホイアン市で行われた日越文化交流祭に招待される。2012年6月に自身初となるブラハでのソロリサイタルを開催。2014年1月チェコフィルハーモニー管弦楽団首席ホルン奏者、兼副指揮者のオンドジェイ・ヴラベツ氏と共演し、好評を博す。チェコ音楽コンクール(2009)入選。ロゼピアノコンクール(2010)第1位。第18回ヤングアーティストピアノコンクールFグループ入賞。近年では在日チェコ商工会議所でのイベントやチェコ大使館での建国記念日の演奏など行う。2017年7月に1st CD『子守歌』をリリース。2018年7月から全国順次公開している渡辺正悟監督のドキュメンタリー映画「性別がない!」のピアノ挿入曲を担当。2019年7月にチェコフィルハーモニー名誉首席チェリスト、フランティšek・ホスト氏と共演し、好評を博す。これまでにピアノを関根有子、神代麻子、船本貴美子、出井則太郎、ミハエル・レゼックの各氏に、ピアノデュオを宮崎和子、船本貴美子の各氏に師事。ソロ演奏にとどまらず、声楽家、器楽演奏者からの信頼も厚く、伴奏ピアニストとしても幅広いジャンルで活躍。



◆ゲスト◆ 印田 陽介 (チェロ)

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、同大学音楽学部卒業後、チェコ・ブラハ音楽院に留学、更なる研鑽を積む。これまで斎藤章一、河野文昭、菊地知也、上森祥平、ヴラダン・コチの各氏に師事。チェコ・ドヴォルジャークホールにてトマーシュ・ヤムニーク氏と二重協奏曲を共演するなど、オーケストラとの協奏曲の共演等、ソリストとして活動するほか、ヴァイオリニストの姉・印田千裕とのデュオ、クアルテット雅、尺八やバンドネオンを含む六重奏団「直会」、インストゥルメンタルバンド「ハリーのしっぽ」、各種室内楽、オーケストラや録音等、クラシックのジャンルにとらわれない幅広い活動を展開している。蓼科音楽コンクール in 東京・室内楽部門第1位、ユースプラハ国際音楽コンクール・弦楽アンサンブル部門金賞ほか多数受賞。CD「都市の陰影(ハリーのしっぽ)」「Water Droplets-珠玉のデュオ名曲集-」「菅原明朗器楽作品集(無伴奏セロソナタ)」「直会-Nao Rai-」など多数リリース。